

とままえ

5

No. 597



風かおる
人が輝き
躍動するまち



まちひと百景

森利男町長が初登庁

苫前町長選挙を無投票で3期目の当選を果たした森利男町長が4月26日(火)初登庁した。

この日の訓示で「社会経済環境は大変厳しいものがあるが、まちの地域力・行政力を活かし、町民サービスを着実に前進させ、町民の皆さんが安心して暮らせるよう努力していきたい」と意気込みを述べた。

この日からまちの元気づくりに向けた4年間がスタートした。

- 2011統一地方選挙…2～3
- 商品開発に係る批評会及び講演会ほか…4
- 苫前町農業協同組合通常総会ほか…5
- 着任教員・事務職員の紹介…6～8
- 道道力屋九重線完成ほか…9
- 国民年金ほか…10
- 学びの情報…11
- 健康ばんざい…12
- 国民健康保険・後期高齢者医療ガイド…13
- すまいる情報…14～15
- 入学ギャラリー…16

まちの人口

人口／3,607人(男／1,706人：女／1,901人)
世帯数／1,631世帯 (4月30日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

平成23年4月10日・24日執行

2011統一地方選挙終わる

苫前町長選挙は無投票で二選

町議会公議員選挙は現職七人、新人一人が当選

四月十日の北海道知事・北海道議会議員選挙及び同月二十四日の市町村長・市町村議会議員選挙（札幌市除く）を行う統一地方選挙が執行された。

北海道知事選挙では、現職で三選を目指した高橋はるみ氏が木村俊昭氏ら三名に大差をつけて当選を果たした。

また、北海道議会議員選挙（留萌管内選出）では、現職の工藤敏郎氏（羽幌町）が花田茂巳氏、飯

田佳宏氏らを振り切り四期目の当選を果たした。

一方、四月二十四日には町民にとって身近で将来を占う選挙である町長・町議選挙が執行され、前々回（平成十五年）の町議選投票率の九五・二五％を約八ポイント下回る八七・四〇％の投票率となった。

町長選挙では、現職の森利男氏以外に届出がなく、公示日である同月十八日午後五時過ぎに選挙管

理委員会から選挙事務所へ無投票当選の一報が伝えられ、三選を果たした。

また、今回より議員定数が二名減り、八名となった町議会議員選挙の届出は、現職八名、新人二名の計十一名となったことから、八年ぶりの選挙戦となった。

四日間にわたる選挙運動が行われ、激戦となったが、現職と新人それぞれ一名が涙をのむ結果となった。

今回も前回選挙と同様に西大志氏が四〇〇票の大台でトップ当選を果たした。

選挙結果と投票率（二十四日執行分）は別掲のとおり。

北海道知事		苫前町分の()内数
候補者得票合計		2,661,858票 (2,400票)
高橋はるみ	当	1,848,504票 (1,739票)
木村 俊昭		544,319票 (528票)
宮内 聡		176,544票 (77票)
鯉谷 忠		92,491票 (56票)

北海道議会議員		苫前町分の()内数
候補者得票合計(留萌振興局管内 留萌市除く)		18,787票 (2,391票)
工藤 敏郎	当	8,141票 (955票)
花田 茂巳		6,967票 (866票)
飯田 佳宏		3,679票 (570票)

苫前町長
森 利男 (無投票当選)

苫前町議会議員		候補者得票合計
西 大志③	当	402票
星野 恭司⑨	当	354票
小倉 哲志②	当	324票
阿部 俊一④	当	291票
田沢 收②	当	288票
間宮 英明⑥	当	269票
青木 幸隆③	当	268票
千葉 勇一①	当	206票
猫島 優		132票
伊藤 実		72票

※ 丸数字は当選回数

森利男町長が初登庁

四月二十六日(火)森利男町長が初登庁した。女性職員から花束が手渡された後、庁舎前に並んだ約六十名の職員らの大きな拍手で迎えられた。

引き続き行われた職員あいさつでは「八年前には借金も多くあったが、ほとんど回復、北海道町村会を通じて国にシカや海岸のゴミ対策などの政策提案を行ってきた。今年は道から職員一名を派遣していただき、マチと道とのパイプを強固にする」とともに、人口を増やす対策、企業誘致、特産品開発、少子化、教育対策などについて研究、分析していく。

これからは市町村が国を支えることになると思われるため、自主的、主体的な地域づくりを進めていく体制づくりが必要である。国や道の動向を注視し、本町の収支をチェックしながら、事業の着実な推進に努め、効率的で効果的な町政運営を目指していきたい」と述べ、三期目森町政のスタートに向け意欲を述べた。



森 利男 町長
69歳 無現

当選証書付与式

選挙管理委員会は、選挙翌日の二十五日(月)に「当選証書付与式」を行い、内田靖生委員長から森町長と町議会議員八名に当選証書が手渡された。

内田委員長は「明るくきれいな選挙にご配慮、ご協力をいただき感謝申し上げます。皆様は町民の信頼や期待を受け、ご当選の栄に浴された。今後、本町発展のためにご活躍を」とあいさつを述べた。

森町長の挨拶の後に、町議会議員を代表して星野恭司氏が「町民の皆様の温かいご支援の下、当選させていただいたことに感謝している。政治の厳しい中我々は四年間まかされた。議会として町民の福祉向上のため一生懸命頑張る所存である」と述べた。



②千葉勇一 議員
37歳 無新



①田沢 收 議員
54歳 無現



④小倉哲志 議員
68歳 無現



③阿部俊一 議員
58歳 無現



⑥星野恭司 議員
76歳 無現



⑤間宮英明 議員
64歳 無現



⑧青木幸隆議員
72歳 無現



⑦西 大志議員
35歳 無現

平成23年4月24日執行 苫前町議会議員選挙 投票区別投票率

投票区	選挙当日の有権者数(a)	投票者数(b)	投票率 (b)/(a)×100
第1投票区 (苫前)	955人	803人	84.08%
第2投票区 (古丹別)	1,090人	974人	89.36%
第3投票区 (力昼)	155人	137人	88.39%
第4投票区 (上平)	61人	50人	81.97%
第5投票区 (長島・香川)	158人	146人	92.41%
第6投票区 (九重)	176人	156人	88.64%
第7投票区 (三溪)	37人	33人	89.19%
第8投票区 (岩見)	73人	69人	94.52%
第9投票区 (東川)	28人	27人	96.43%
第10投票区 (豊浦・興津・昭和)	59人	46人	77.97%
第11投票区 (小川)	37人	36人	97.30%
第12投票区 (港・三豊)	172人	146人	84.88%
計	3,001人	2,623人	87.40%

※現=現職、新=新人、無=無所属
なお、写真の番号は届出順。

商品開発に係る批評会及び講演会

平成21年度より3年間、北海道教育委員会の専門高校パワーアッププロジェクト推進事業の研究指定校を受けている苫前商業高等学校で3月14日(月)に商品開発に係る批評会及び講演会が行われた。

同校では研究テーマに「コンビニで受け入れていただける商品の開発」として、この2年間に地元の農産品や水産品などを使った試作品をこの日講師として来校した光塩学園調理製菓専門学校副校長の長沼洋招氏と経営学マーケティング担当の船場秀昭氏に試食、批評してもらった。

くりかぼちのスイーツパンキンやタコ、エビ、ほたてのシーフードピザなど計9品を講師に差し出し、緊張した面持ちで言葉を待っていたが、いずれの品も「おいしい」との声があり、生徒も一安心。中には商品としての期待度が高いものもあった。

長沼副校長は「一番大事なことは安全で安心な料理で、素材を活かすことが大切」と述べ、生徒に更なる奮起を促した。

この後、船場氏より「売れる商品とは」と題して講演が行われ、生徒は学習を深めていた。



苫前町消防団・五反田久副団長に表彰

長年の地域防災への貢献に苫前町消防団(瀬川信昭団長)へ消防庁長官の表彰旗を授与、昭和54年12月入団し30年以上活動してきた五反田久副団長に同長官永年勤続功労章が受章されたことから、3月22日(火)役場町長室で伝達式が行われた。



本町消防団も明治28年に「苫前村消防組」から組織、活動して既に115年を経過、これまでに北海道知事、日本消防会長などから表彰旗、平成16年に消防長官の竿頭綬を受けている。瀬川団長は「これまでの栄誉は先輩方のお陰。これからも住民の生命・財産を守る使命を果たしていきたい」と述べた。

また、五反田久副団長は古丹別分団長を経て平成19年から苫前町副団長に就任、3月をもって退職となるが「先輩や同僚に恵まれたので、今回の受章となった。これからも一町民として協力するとともに、防火・防災に努めていきたい」と述べた。

入園・入学シーズン到来!

4月に入り、まだ雪が多く残る中、町内保育園(所)・小中学校・高校で入園(所)、入学式が行われ、真新しい園児服、制服に身を包んだ子供達が笑顔で元気に登園・登校した。

保育園(所)の入所式では、園(所)長先生より「最初のうちは、お母さんと離れてさみしいかもしれないけど、お友達や先生がいるので、安心して元気に登園してください」と園児に伝えた。



一方、小学校の入学式では、校長先生より「体育館に入ってくる様子を見ていたら、もう立派な小学生の顔になっていた。「元気なあいさつ、友達と仲よく、自分のことは自分でする」この3つを守って過ごしてほしい」と入学を歓迎した。

中学校の入学式でも校長先生から「震災で命を落とした生徒、入学式を迎えられない生徒などがいる中、皆さんは入学式を迎えたが、当たり前のように過ごしていることの幸せを噛みしめてほしい。中学校生活では自ら学ぶ人になること、他人を思いやり高めあう人になってほしい」と新入生にエールを送った。



林野火災の絶滅に向け～苫前町林野火災予消防対策協議会開催～

4月14日(木)役場大会議室で林野火災予消防対策協議会が森町長(対策協議会本部長)、留萌南部森林管理署山端孝業務第一課長ほか関係者約50名が集まり、林野火災の予防と体制を強固にするため開催された。

挨拶で森町長は「22年度は本町で林野火災は発生していないが、20年度から2年続けて林野火災が発生している。林野火災の原因は人為的な過失が多く、一度火災が発生すれば被害が甚大になるものも少なくないことから、万全な体制で行えるよう忌憚のない意見をいただきたい」と述べた。

この後、林野火災予消防の強調期間の設定、情報の連絡体制や予防対策などの協議が行われ、関係者間の確認を行った。事務局では「これから山菜採りなどで入林する方もいると思うが、春に火災が集中している。喫煙される方は携帯用灰皿を携行するなど、火災を出さないよう気をつけてほしい」と述べた。



第63回苫前町農業協同組合通常総会

4月15日(金)公民館で第63回苫前町農業協同組合通常総会が森町長、工藤敏郎道議会議員など多数の来賓の出席で開催された。

冒頭に松原幸博代表理事組合長より「去年は天候に悩まされた1年だったが、それでも販売額は22億400万円、目標額の92%を達成できたことは組合員等皆様のお陰で感謝している。23年度は財務の健全化に向けた自己資本の充実による基盤強化などに努め、足腰の強い体制の確立を目指し、前に進んでいきたい」と決意を述べた。

総会では事業報告と決算、新年度事業計画など含め6件の議案と報告事項1件、協力事項2件をすべて可決、承認し、TPP交渉への参加反対やWTO・日豪EPAの例外措置をこれまで同様の維持を求めることなどを決議した。



★★★★★「サッカー&食育教室 in 苫前町」★★★★★

4月16日(土)スポーツセンターでコンサドーレスポーツアカデミーJ Aスポーツセミナー「サッカー&食育教室」が町内や羽幌町の小学生約60名が集まり開催された。



最初にコンサドーレ札幌管理栄養士の小松信隆さんから「スポーツをする前には2時間前にごはんを食べないと試合までに力がでない、そして身体を作る時間は午後11時から始まるので、それまでに寝ていなければならぬ」と子どもたちに説明したあと、コンサドーレ札幌ジュニアサッカースクールコーチ佐々木滋さん、宗像訓子さんによるサッカー教室が初心者と経験者に分かれて行われ、初心者クラスの小さな子どもたちはボールでの遊びを通してサッカーの楽しさを体験していた。

また、教室実施中には保護者向けの食育教室が行われ、バランスのよい食事等に関する講話が行われた。

春の田植えに向けて ～学社融合事業種粃蒔き～

学社融合事業の種粃蒔きが苫前小学校と古丹別小学校の5年生を対象に4月21日(木)両校で岩見の花井秀昭さんを講師に開催された。

あいにくの雨模様であったため、両校とも玄関からすぐのところシートを敷き、その上に稲を育てる用の14×32のくぼみのあるポットを置き、1つに種粃みを3～4粒ほどを入れ、土をかぶせる作業を行った。



苫前小学校(岩村直幸校長)では「楽しいけど、キツイ」「種粃を多く入れすぎた」など言いながら賑やかに行われた。

また、古丹別小学校(高谷典義校長)でも同様の作業を行ったが、こちらは黙々と種粃を入れる作業を行った後、花井さんへ児童より「これから苗を育ててもらったり、田植えを教えていただいたりするので、よろしくお願いします」とお礼が述べられた。



交通ルールをしっかりと守ってね！ ～苫前小・古丹別小青空教室～

交通ルールを守ることの大切さを学ぶことを目的に、苫前小学校と古丹別小学校両校で青空教室が開催された。この教室は雪も解けてきたことにより、子ども達も自転車に乗り始めるなど行動範囲が広がることから交通事故防止の一環として毎年行われている。

4月21日(木)苫前小学校は、朝からの雨により体育館での実施となった。



苫前駐在所の藤田利文所長より「交通ルールを守り、事故に遭わないよう気をつけてください」と話を聞いた後、自転車の乗り方についてのDVDを視聴し、安全意識を高めた。

また、古丹別小学校は4月27日(水)に行われ、1・2年はトラック乗車体験による死角の確認と大型車の内輪差体験、3・4年と5・6年はグラウンド横と国道での自転車実習が行われた。その実習で児童たちは交差点で自転車を降り、左右をしっかりと確認し横断していた。

古丹別駐在所の鈴木憲作所長も「今日は左右確認がしっかりとできていたが、これからも交通ルールを守って過ごしてほしい」と述べた。

